

ハドロン宇宙国際研究センター
Presents

「にゅー」と「リノ」の ニュートリノな ある日の午前1時



リノちゃん



既読
0:57

起きてるー?



にゅー けいたい

おきているよ~

1:00

リノちゃん



Good!

既読
1:00

リノちゃん



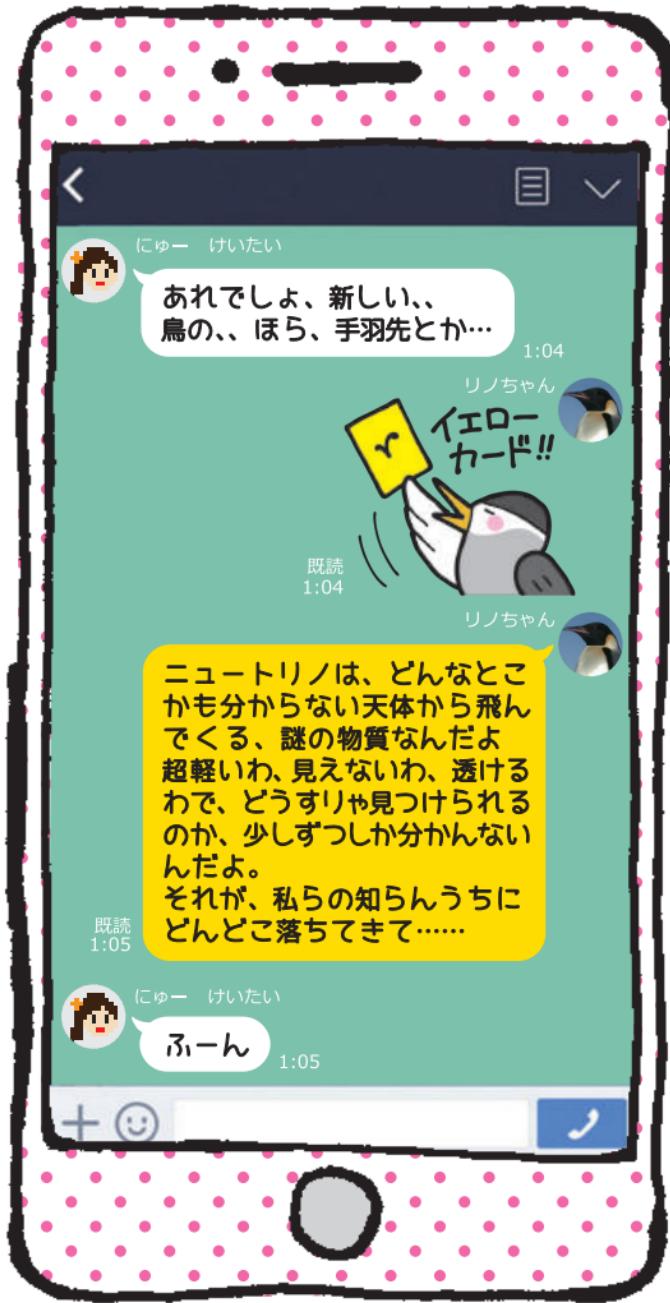
聞いて欲しい
ことがあって…

既読
1:00







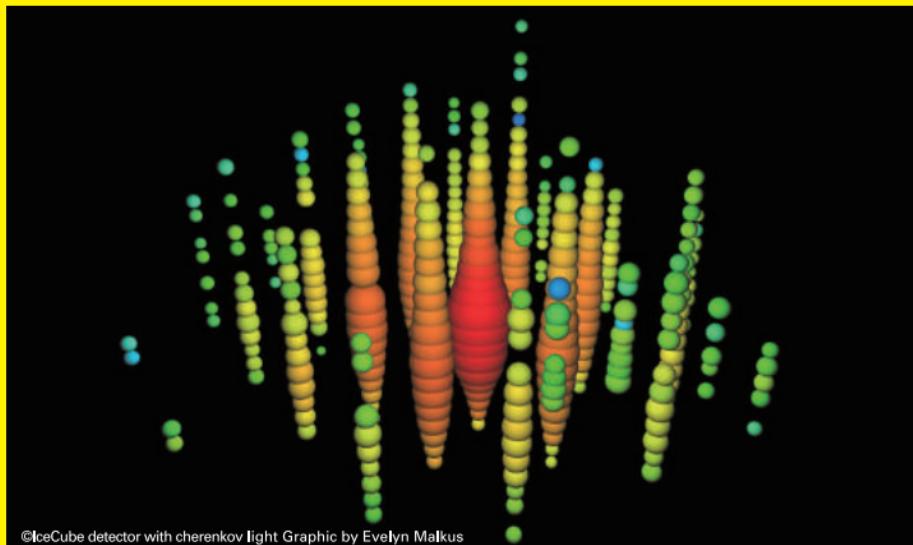








宇宙から降ってくるニュートリノを 調査する〈アイスキューブ〉

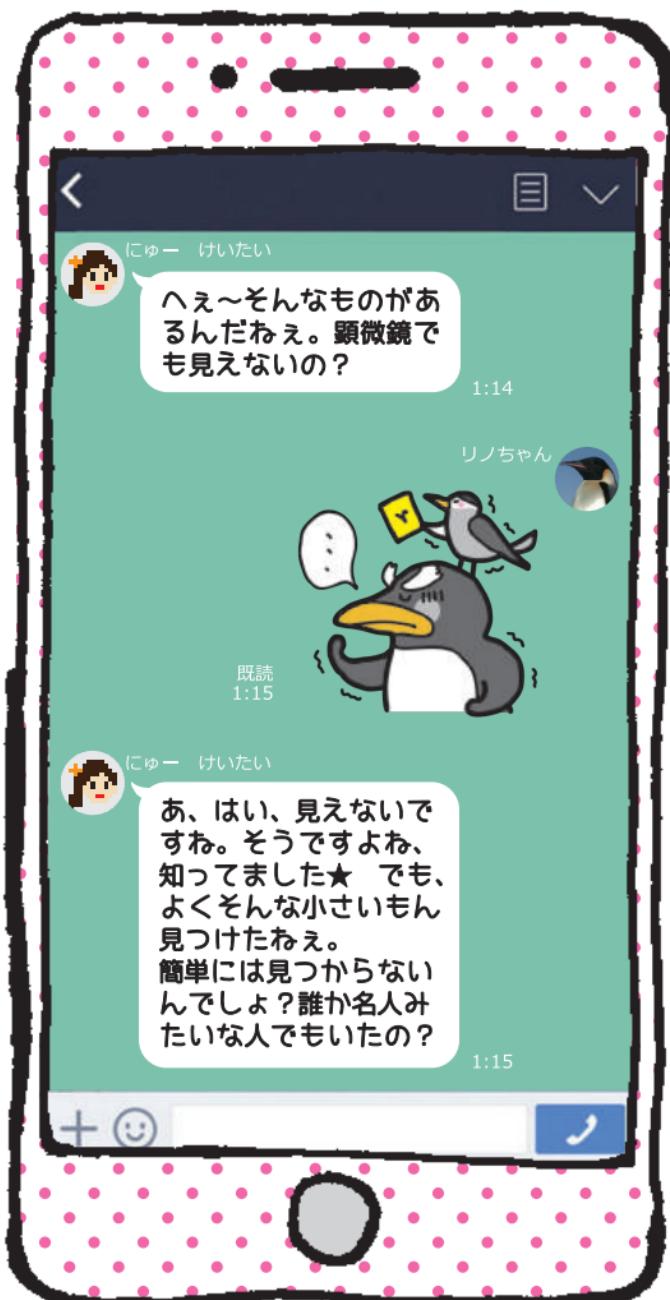


上の写真は、南極にある〈IceCube (アイスキューブ)〉っていう施設の検出器が、ニュートリノに反応した時のもの。日本の研究者がこれを最初に見つけたんだよ。

ニュートリノは、物質を究極までバラバラにすると現れる、これ以上小さくできない「素粒子」と呼ばれているものの1つなの。捕らえるのはとっても難しいんだけど、これを捕まえられれば、宇宙の仕組みが解明できるかもしれないといわれていて、世界中の研究者が追いかけ続けているのです！

これはアイスキューブのニュートリノ検出器。ここで宇宙から降ってくるニュートリノを検出するの。ちなみにニュートリノ自体は珍しいどころか、宇宙にぎゅうぎゅうに満ちていて、手のひらぐらいの面積に毎秒10兆個のニュートリノが通り抜けているらしいよ。©Robert Schwarz, NSF





リノちゃん



もちろん、1人や2人の功績じゃないんですよ！何十年もかけて大勢の研究者が、試しては失敗し、試しては失敗し、「そもそも無意味なことやってたわ」とか、何年も経つてから気づくとか普通にあるんスよ！

既読
1:16



にゅー けいたい

{+~+}

1:16



にゅー けいたい

それは熱いね。。。テストみたいにこごらへんから出題します、とか誰か教えてくれると助かるのに。

1:17

リノちゃん



誰がだ。

既読
1:17



ここで ニュートリノを 発見してきた 皆さん おもな ご紹介！



これ、
ニュートリノって
名前にしようつと。

イタリアの物理学者

エンリコ・フェルミ

彼は、1933年にニュートリノっていう名前を命名した名付け親。実際に調査しにくいことのなんとなくの数を当てるのが得意なイタリア人の物理学者さんです。彼がニュートリノについていろんな予測したら、それが結構当たっちゃったらしい。それから、多くの人がニュートリノの存在を確信はじめたの。

見えない
ものが
ある気が
するな……。



オーストリアの物理学者

ウォルフガング・パウリ

1930年、ベータ崩壊っていう研究をしている時に、「見えないものが実験の結果に影響している気がしてならん！」と疑いをもって、最初にニュートリノの存在に気づいたオーストリアの物理学者よ。実験が下手なことでも有名なんだってさ。実験装置に近づいただけで壊れると噂される始末。

と 実験成功！
とうとう見つけた！



アメリカの物理学者

フレデリック・ライネス

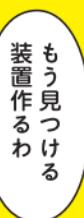
それまで、理論上「あるんだろうなあ～」とされていたニュートリノを、原子炉の実験で初めてちゃんと検出してみせた人なの。1953年ごろかな。ちなみにニュートリノって名前がついてから、20年以上たってようやく本物登場ってね。焦らしすぎだわ。



アメリカの物理学者



日本の物理学者



◆ 2002年ノーベル賞受賞
レイモンド・デイビス

1970年ごろ、太陽からニュートリノ出てるんじゃないかな説を確証付ける観測に成功したの。ノーベル賞もゲット。でも、理論上は「たくさん出ています」ってことだったらしいのに実際は超少なかったらしく。「今までの計算方法とか、全部やり直しね★」ってことになり、当時の研究者は大騒ぎよ。



日本の物理学者

◆ 2015年ノーベル賞受賞
梶田隆章

1998年頃、ニュートリノが震えているという発見を通して、質量があることを見ついた梶田さん。ニュートリノって、ずっと「重さんでないんじゃないの～？」って思われていたから、世界中の研究者がビックリしたのよ。そしてご存知の通り、見事ノーベル賞をいただいたわ。

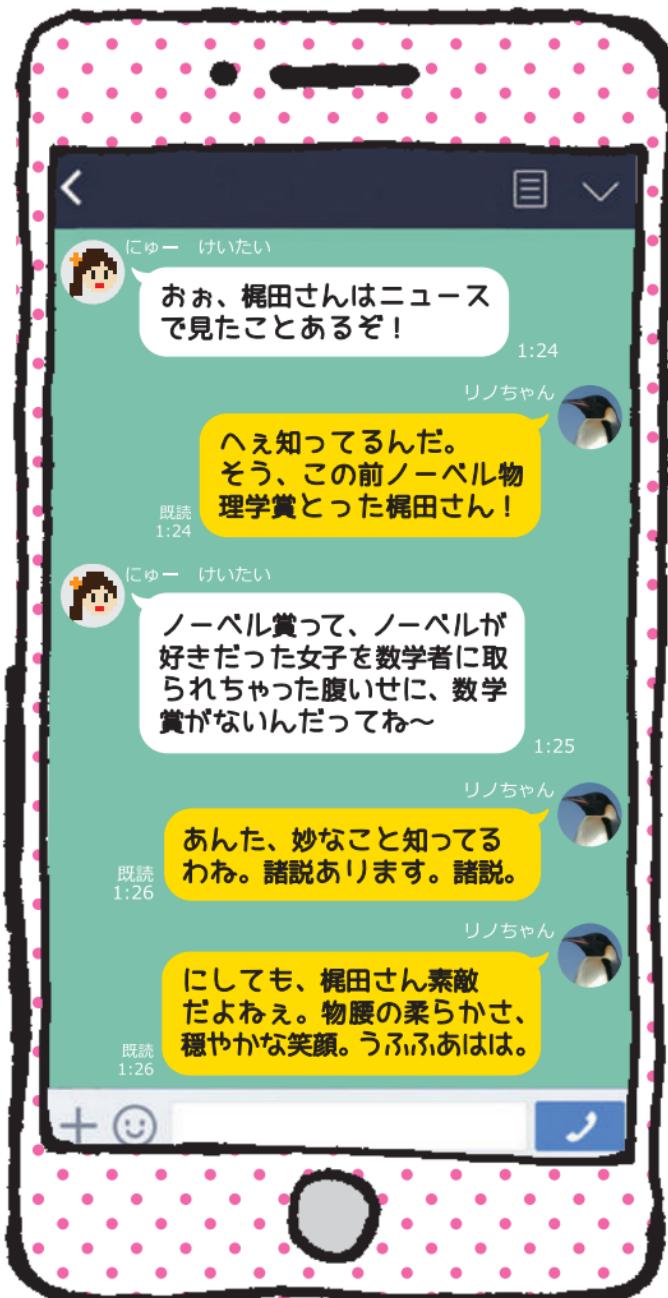
ここで日本人登場！ 1987年頃、神岡鉱山跡に大きな水槽のニュートリノ検出器、「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を計画して立てた人ね。超新星爆発で飛び出たニュートリノの検出に成功して、彼も2002年にノーベル賞ゲット。学生時代は成績悪かったんだって。私たちにも望みがある…かな？



ベルギーの物理学者

フランシス・ハルツェン

ベルギー出身の物理学者で、さっきててきた南極のニュートリノ観測所「IceCube（アイスクューブ）」の発案者よ。2010年から、氷の下に埋めた大量の検出器で、宇宙ニュートリノの観測をしているの。この研究は国際規模の共同研究。日本からは千葉大学の研究者も参加しているんだよ。



リノちゃん



既読
1:27

にゅー けいたい

あんたまさか。
恋か？

1:27

リノちゃん

ええもちろん。会いたくて震えるね。
まさにニュートリノが
震えていることに気づいて、ノーベル賞をいた
だいただけにっ！
だけにっ！！

既読
1:27

にゅー けいたい

で、ともかく世界中で
研究されてるのね。

1:28



リノちゃん



スルーですか..
そう、とくに
南極のアイスクューブ
と日本にあるカミオカ
ンデは、宇宙ニュート
リノ研究の最先鋒とい
える場所なのですよ。

既読
1:29

リノちゃん



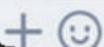
既読
1:30

にゅー けいたい



おおっ！
あふるる
秘密基地感！！

1:30

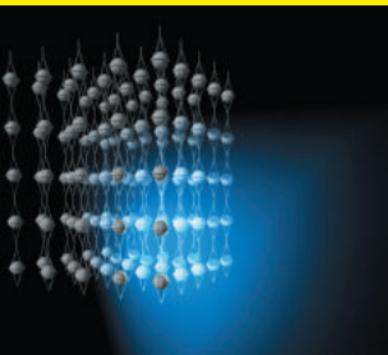


アイスキューブは南極点にあるよ



©Ian Rees, IceCube/NSF

オーロラがゆらゆら揺れる下に、どどーんとそびえ立っているのがIceCube実験制御室。南極点のアムンゼン・スコット基地にある。この名前はなんか聞いたことあるでしょ？そう、はじめての南極点到達を目指した二人ね。ここでさっき登場した丸い検出器の電源管理や、データ収集をして、世界中の研究所に検出結果を送信しつづけているの。



氷の中はこんな感じ。氷に2.5kmの穴をあけて、検出器をタテにつるつるっとつなぎ合わせて設置しているんだよ。穴の数は86本。検出器の数なんと5160個！

©IceCube detector with cherenkov light
Graphic by Evelyn Malkus



氷の中に
こんなものが !!

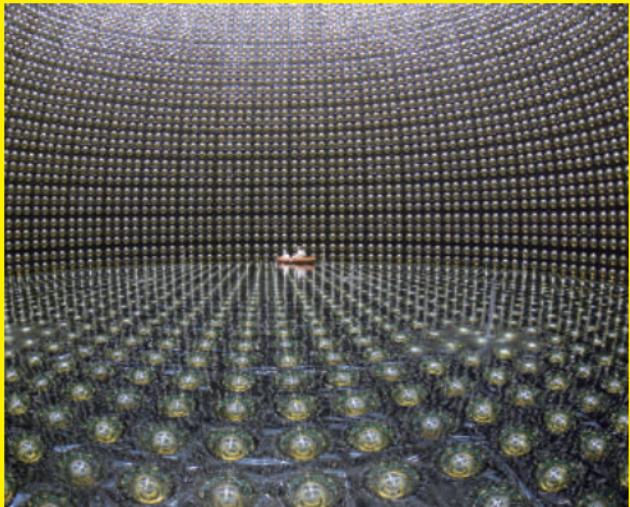


これが上空から見渡したところね。点で記されているのが検出器を埋めているところ。まわりになんにもないから、広さが実感できないけど、1立方キロメートルにもわたって張り巡らされているよ。©Composition by: Jamie Yang, WIPAC. Photo by: Haley Buffman, NSF

一方こちらが、日本のスーパーカミオカンデ



岐阜の神岡にある「スーパーカミオカンデ」。アイスキューブが氷の下で検出しているのに対して、こちらは地下にある鉱山跡に検出器を張り巡らせた大きな水槽を作つて検出している。ノーベル賞で一躍時の人になった梶田隆章さんは、ここでニュートリノに質量があることを見つけたんだよね。こちらも直径39.3m×高さ41.4mとかなり巨大です。



©東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設







宇宙を飛んでくる ニュートリノを調べれば 宇宙の秘密が分かる（かもよ）。

宇宙から飛んでくるニュートリノは、宇宙線という宇宙に飛び回っているものが作られる所で、一緒に作られているらしいことまでは分かっている。その場所とか仕組みが分かれれば、ずっと正体が漠然としていた宇宙線を作っている天体の正体が分かるかもしないんだ。



問題は、そんな高いエネルギーを持つ宇宙線を作っている謎の天体が、まだぜんぜん特定しきれていないことなのよね。

でも天体観測の世界は日々進化していて、いまや世界中のさまざまな専門家が協力して、その解明を目指しているの。

「多粒子観測」という呼び方をされているけど、今まで別々の場所で、違う手段で宇宙を観測していた人たちが、連携して宇宙を観測するようになってきたのよね。ニュートリノの研究者も、星の観察をしている人も、最近話題になった重力波の研究をしている人たちも、同じ宇宙を見ている。みんなが力を合わせれば、宇宙を解明できるかもしれないじゃん。



すごいね！お姉さん！！
私、宇宙の秘密もっと知りたい！

リノちゃん

やけに教育まんがな
コメントをありがとう。

既読
1:50

にゅー けいたい

や、本当すごいわ。人類、
宇宙にチェックメイトですな。

1:52

リノちゃん

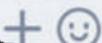
チェックメイトの可能
性はゼロじゃない。
それを信じているから
研究者の皆さんのが何世
代もかけて、ニュート
リノを見つめ続けてる
んだよ。

既読
1:55

にゅー けいたい



1:56





にゅー けいたい

毎日、昼夜問わずに寝ながら
研究に励んでるんだね。

1:56

リノちゃん



うん、「寝ずに」だけどね。
あと、まあそれなりに
寝てるだろうけど。

既読
1:57

リノちゃん



てゆーか、もう2時じゃ
ん！マズいマズい！明日
1限テストだ、早く寝よう
！！

既読
1:58



にゅー けいたい

うしくないなあ。テスト
なんて、宇宙のスケール
に比べたらどうってこと
ないじゃん。もっと大き
く構えていこうじゃない
かっ！

1:59







International Center for Hadron Astrophysics



<http://www.icehap.chiba-u.jp/>

千葉大学大学院理学研究科附属
ハドロン宇宙国際研究センター

International Center for Hadron Astrophysics,
Graduate School of Science, Chiba University

〒263-8522 千葉市稻毛区弥生町 1-33

2016年04月01日発行

企画・編集・文：吉田 滋・石原 安野・高橋 恵 (ICEHAP), 片岡 聰 (haruniresha.Inc)
デザイン：荒木 未来
イラスト：志水 則友, 立石 タツアキ (ビーツ)

© ICEHAP. All Rights Reserved. 本誌掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます